

会報神奈川

平成25年5月15日

発行責任者

会 長 瀬 尾 剛 良

〒211-0025 川崎市中原区木月1-20-1

電 話：044(411)4344

<http://www.k-jinja.jp/seinenkai/>

遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮



東日本大震災パネル展（横浜新都市プラザ）



神奈川県神道青年会

会長退任挨拶

神奈川県神道青年会 第二十三代会長 瀬尾 剛 良



平成二十三年四月より図らずも神奈川県神道青年会の会長の大役を仰せつかった。より早くも二年が経過し、五月の定例総会に於いて任期満了で退任致します。

在任中、神奈川県神社庁関係の皆様はもとより、県内宮司の皆様、諸先輩方には一方ならぬご指導とお力添えを賜り、お陰をもちまして大過なくその責務を全うすることが出来ましたことに、厚く御礼申し上げます。

さて、平成六年に青年会に入会させて頂いてより二十年。入会した翌平成七年に、「阪神淡路大震災」が発生し、会長職として青年会を終える平成二十三年に「東日本大震災」が発生致しました。因縁というか、自分自身が試されている気が致しました。

「阪神淡路大震災」発生直後、当社の宮司と共に現地視察に逸早く入り、神青協の復旧復興支援活動のもと神奈川が作業を行う神戸市東灘区の東明八幡神社や、自社も被災されているにも拘らず、我々の宿泊を受け入れて下さる神戸市中央区の二宮神社等を下見

し、段取りを煮詰めました。それが平成七年三月六日から九日の支援活動に繋がりました。

当時、神社界に於いて神青協を中心に全国単位会が各地に散らばり、そのような支援活動を展開しているにも拘らず、一部の方からマスコミを使い「神社界は何もしていない」と揶揄され歯痒い思いが致しました。

「東日本大震災」という未曾有の災害に立ち向かうに当たり、往事を振り返りながら、早急な支援物資の搬送、復旧復興支援活動の展開、そして我々の支援活動の様子を世に広め、多くの皆様に来る際の準備と備えの意識を持つてもらおう活動も展開できたのではないかと感じております。

然しながら、東北地方、特に福島県



では現在もなお原発事故による風評被害、除染作業の遅れ、記憶の風化に苦しむ方々が居られます。今一度、震災直後に天

皇陛下より発せられたお言葉を体し、被災者と共に復興への道のりを見守り続けていかなければなりません。「被災地」という言葉が正式な県名へと戻り、被災された方々が心の底から笑顔となれるその日まで、長く心を寄せていきたいと思います。

結びに、数々のご教導を賜りました諸先輩、私を支えて頂きました役員、会員の皆様をはじめ、神奈川県神道青年会に関わる全ての方々に心から感謝申し上げますと共に、今後神奈川県神道青年会が佐野会長を中心に益々発展し、会員相互の輪がより強く大きく成ります事を、ご祈念申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。

社頭授与品専門奉製所

(主要奉製品意匠権所有に付、侵害厳禁)

常陸神宝(株)

〒310-0902 水戸市渡里町 835-1

☎ (水戸) 029 (227) 0511 (代)
FAX (水戸) 029 (227) 0512



〈営業品目〉●交通安全御守護
●開運招福鈴
●文鎮・金杯
●各種記念品類
●胸像・レリーフ・鋳造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1
TEL. 03-3814-1811 FAX. 03-3818-8332
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp
http://www.suzuki-kisho.co.jp

神奈川神社庁御用達

株式会社 クレックス

代表取締役 近藤 榮雄

〒194-0014 東京都町田市高ヶ坂七六九番地
電話 〇四二七二八八九四一(代)
FAX 〇四二七二三一三五六三

会長就任挨拶

神奈川県神道青年会 第二十四代会長 佐野 巖



先づ以て、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。

また神宮におかれましても愈々第六十二回神宮式年遷宮の年を迎え、諸祭恙なく斎行されておりますこと、慶賀に存じ上げます。

さて、去る十二月六日に開催されました、当会の臨時総会に於きまして図らずも会長にご選任戴きました。先輩諸賢の築き上げてこられた歴史と伝統を次代に繋ぐべく、神奈川県神道青年会第二十四代会長の大役を仰せつかる事となり、その重責に身の引き締まる思いでございます。もとより浅学非才の身ではありますが、斯く成りました上は斯界の発展の為に新役員一丸となり専心努力致す所存でございます。先輩諸賢には倍旧のご指導ご鞭撻を、会員各位には絶大なるご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年度の活動には、通常の事業の他に特筆すべき事項が二つあると思います。一つは、斯界を後押しする機運が幾つもあることです。出雲大社の平成

の大遷宮、熱田神宮では創祀千九百年記念大祭、そして伊勢の神宮では神社神道最大の祭典である第六十二回神宮式年遷宮遷御の儀が行われます。当会ではこれまでも遷宮研修会の開催や、お木曳き行事への参加等、様々な神宮に関わる事業を数多く展開して参りましたが、本年度もお白石持ち川曳きへの参加や、尚一層の効果的な参宮促進と遷宮奉祝の機運を高める事業を展開していく所存です。二つは、この夏に参議院選挙があります。昨年末の衆議院選挙では失われた三年間を取り戻す機会となりました。失ったものはあまりにも大きいものでしたが、教育、文化、経済と早くも取り戻した新政権の下、良い兆しが見えてきております。

本年の参議院選での更なる飛躍を目指し、神道政治連盟神奈川県本部との連携を強固にして、神政連青年隊として



「実践につとめて以て大道を宣揚する」よう職務を全うする所存です。

何れに致しましても、先輩諸賢が築いてこられた足跡を踏まえて、しかしながらそれをただ模倣するのではなく、これまでの積み重ねの上に新たな側面からも次なる活動を展開していかなくてはなりません。会員一人一人はこれまでの枠に囚われる事無く、様々な視点、広い視野をもって今後の活動に反映して戴きたく、また先輩諸賢にはこれまで以上の叱咤激励を戴き、青年神職らしい活発な活動、青年会でしか出来ない事業を今後も展開していく所存です。新役員共々ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、会長就任のご挨拶と致します、

追伸、神道青年全国協議会の副会長も仰せつかりました。どうぞ宜しくお願い致します。

祈りのかたちに
京の伝統と真心を込めて

御社々ならでの御守もオーダーメイドで奉製いたします
色・柄・形などお気遣い御相談ください

京都奉製株式会社

京都本社 東京営業所 仙台営業所 福岡営業所
電話 0120-164124 (イロヨニシキ)
ホームページ http://www.igamori.co.jp

神祭具・御装束・雅楽器類
結婚式場調度

(株) 高善装束店

代表取締役 桑 眞一

〒113-0021 東京都文京区本駒込 3-2-9
TEL 03(5815)8771
FAX 03(5815)8772

シリーズ
言霊

『何事も行う前に』

もとにかえり考える』

神奈川県神道青年会第八代会長
浅間神社 宮司 吉田周司

神奈川県神道青年会に所属していた若かりし頃、会員数二十名あまり、県下各地より集い集会を行いました。今はなき龍山会長の下、少人数ながら会の活動も目的に向かって邁進した次第です。

現在の青年会を見ていると非常にたくましく思います。今までの神職と違い、年若い若者を理解し育む姿勢が必要だと思えます。活動も多岐になるが、その精神を大事にして事に当てることこそ未来が開けると思えます。私は鶴岡八幡宮に奉職以来、独自でこの会に参加し、その間職員は誰一人入会していない状態でした。私自身、神職の世界に入りましたのは、兄弟で一番上であつたということで、國學院大學も出ておりません。私立大学、しかも三流大学を卒業した人間です。ただ、大学二年と三年の間に夏期講習に通い神職資格を修得した訳で、八幡宮に入り正階をもらい、爾来十五年間働かせていただき、その間は毎日毎日研

修の日々で境内の掃除、事務、営繕、授与所の仕事とこなしてきました。

いま考えると、八幡宮で神職の基礎を諸先輩から教えていただき、神職としての自覚と責任の重さを抱かせていただきました。

然るに昭和五十六年に明階の基礎研修を修了後、明階をいただいたのが神職歴です。

今でも思い出すのは、戦後壊滅的な

戦災に会い、着るもの、食べるもの、住むところ無しの時代に唯一神楽殿だけ境内に残り、父母、自分、弟、妹と五人で数年間暮らし、育みもあり、弟妹私と子供三人四年制の大学を出していただき、結婚、孫までそれぞれに持てたということに多大なる感謝を致します。

今でも父を振り返ると兄弟多い中で育てられ、一つでも自分に与えられた事は疎かにせず、真面目に事に当たる事こそ大事であり、人間はいつも一人誰も助けてくれない、一人の意志は偉大であり、その判断は人生を左右する事だと私に教えてくれた一言です。それが『何事も行う前にもとにかえり考える』という言葉です。

何事も行う前に

もとにかえり考える

吉田周司

深型装束カバン

防水加工の強化ナイロン系を使用し、傷が付きにくく、耐久性抜群です。

小道具の収納に最適な携帯小道具バックもご紹介します。

株式会社
民俗工芸TEL 0120-534-550
FAX 0120-872-550〒857-1162 長崎県佐世保市御本町18-1
土曜日も平常通り営業致しております。

民俗工芸オリジナル

不測の不審火から御社殿、御拝殿を守る
ファイヤーレターデント防燃水

＜施工実績＞

- ・子安神社(八王子)
- ・新田神社(大田区)
- ・町田天満宮(町田市)
- ・池尻稲荷神社(世田谷区)
- ・諏訪神社(群馬県)
- ・座間神社(神奈川県)
- ・日枝神社(神奈川県)
- ・鈴鹿明神社(神奈川県)
- ・他神奈川県内7神社
- ・四国霊場八十八箇所 竹林寺他2寺(高知県)

＜特徴＞

- ◆ 施工後約5年間は延焼防止効果が継続!
- ◆ 防燃シロアリ忌避・防蟻の3大効果!
- ◆ 7年間価格据置!

（1,000円/㎡）

【通常火災】 270℃に達した瞬間に1,000℃以上の炎が燃え広がる

【施工後】 1,000℃以上の炎でも火は燃え広がらない

●販売元 **コクド環境(株)** 〒332-0032 埼玉県川口市青木3-12-22
●施工元 **(有)環境マザーズ** TEL (048) 241-8255代 FAX (048) 241-8256



ど天日干しをしてから懸税を奉製し、伊勢の神宮へ奉納致しました。

十月二十一日には恒例となりました稲刈りを行いました。前年は大雨に見舞われたこともあり天気を心配しまし



当年
伊勢の神宮に懸税(かけちから)を奉納しております。今年も九月下旬に二十株ほどの稲を刈り取り、一週間ほ



喜んでいた。午後、神話青空紙芝居(今回は「いなばの白うさぎ」)を披露し、その後



穂祭を執り行い、開会式と記念撮影の後、愈々手に鎌を持って稲を刈ります。稲を刈る人と刈った稲を束ねる人に分かれて作業を進め、午前中の作業はここまで。昼食は各自持参のお弁当を青空の下でいただきました。当日は季節外れの猛暑で、当会広報部からのアイスクリームの差し入れには、参加者の皆さんがとても



だが、今年は晴天となり無事に行うことができました。本年の稲刈りはお田植もお手伝いいただいた「まほろば教育事業団」の皆様のご参加もあり、四十七名(大人二十九名、子供十八名)参加の賑やかな開催となりました。

当日はまず抜穂祭を執り行い、開会式と記念撮影の後、愈々手に鎌を持って稲を刈ります。稲を刈る人と刈った稲を束ねる人に分かれて作業を進め、午前中の作業はここまで。昼食は各自持参のお弁当を青空の下でいただきました。当日は季節外れの猛暑で、当会広報部からのアイスクリームの差し入れには、参加者の皆さんがとても



最後に閉会式を行い、一生懸命汗を流し頑張ってくれた子供達にお菓子を配布して解散となりました。収穫したお米は後日精米し、新嘗祭に合わせて県内の神社へ奉献致しました。



残りの作業へと移りました。束ねた稲の天日干しですが、暑さも頂点となり、稲を運ぶのがひと苦労で、

「土佐松自由自在」「既製サイズで我慢・・・」の時代は終わりました。

土佐松で作る神具木工品は

森の道具屋

〒780-0935 高知市旭町2丁目22-15

TEL 088-850-4087 FAX 088-850-4076

URL <http://www.morinodouguya.ecweb.jp>

E-mail morinodouguya@titan.ocn.ne.jp

内宮に一番近い宿・どなたでもご利用いただけます



早朝参拝のご案内をしております

ゆとりとやすらぎの宿

神宮会館

伊勢神宮崇敬会

一 宿泊に関するお問い合わせ 一

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152
TEL 0596-22-0001/FAX 0596-22-1517

<http://www.jingukaikan.jp>

祭式研修会 地鎮祭

教養部副部長 長崎佳範



平成二十四年
十月十一日、鶴岡八幡宮研修道場に於いて神奈川県神社庁祭式講師石川正人先生をお招きし、祭式研修会を開催しました。

正式参拝後、午前は基礎作法の確認、午後より地鎮祭の講義と実技研修を行いました。

日々の奉務を進めていく中で、それぞれの癖が出る、細かい部分がおろそかになるなど作法が崩れがちです。また、基礎作法を見直す機会を作るのはなかなか難しく、それぞれで確認し合うという時間を設ける事も難しいかと思われまます。

また地鎮祭における作法についても、その場その場の設営の都合などに応じてやむを得ず作法の省略や変更などを行う事があり、教本通りの次第ができない場合があります。

このような基本的な部分についてもご指導いただき、そして普段は違う神社で奉務をしている神職同士がお互いに確認を行うことにより、しっかりと



基準点に立ち返ることができたかと思えます。

今回の参加者三十一名それぞれが研修を通じて基礎作法の重要性、また地鎮祭を行う上で神職の裁量になりがちな作法の見直しや式次第の確認をすることができ、石川先生の懇切丁寧な指導の下、有意義な一日研修となりました。

また常々青年会事業にご協力いただき、当日は研修会場として快く研修道場をお貸しいただきました鶴岡八幡宮の皆様のおかげで、盛況に研修会を開催する事ができました。誠に有難うございました。

また常々青年会事業にご協力いただき、当日は研修会場として快く研修道場をお貸しいただきました鶴岡八幡宮の皆様のおかげで、盛況に研修会を開催する事ができました。誠に有難うございました。

禊錬成研修会

教養部部長 熊谷和真

平成二十五年三月二十五日森戸海岸に於いて、恒例の禊錬成研修会を行いました。

当日は早朝より小雨降る肌寒い気温ではありましたが、桜が満開に咲くなか会員二十九名、一般参加者一名と多くの方々に



ご参加いただいたうえ、千葉県神道青年会宮崎慎会長が昨年に続いて駆けつけてくださいました。講師に神

奈川県神社庁錬成行事道彦瀧森好先生、同助彦水谷智賢先生、角井司先生をお招きして、森戸大明神を正式参拝後森戸海岸にて禊を行い、参集殿に移動して鎮魂行までの行事を行いました。

森戸海岸に於いての開催は初の試みでありましたが、森戸大明神職員様、またシャワー施設を拝借いたしました近隣のサーフショップの皆様のご協力により、快適且盛況に行うことができました。誠にありがとうございました。

今年度最後の事業となりました禊錬成研修会を通じて事業を振り返り、心身の清浄を図るとともに、新たな気持ちで次期活動を行うべく大変有意義な時間となりました。



誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製



御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
電話大阪 06-6702-6009(代表)
FAX大阪 06-6797-5460

誠実奉仕、信用第一

神社本庁 御用達
國學院大學 推薦店
明治神宮 指定店

瀬戸装束店

〔営業品目〕

●神職御装束●神楽装束●神社調度
●祭器具のすべて●神前結婚式場神殿設備

東京都中野区中野3丁目10番5号
〒164-0001 電話 03-3381-4927
FAX 03-3381-4927
取引銀行
三菱東京UFJ銀行中野駅前支店
普通預金No.0359145
郵便振替口座 00120-7-557201

慰労送別会

親睦部部長 橋本孝太郎

平成二十五年三月二十五日、今年一年の慰労と本年度で定年退会又県外転出する会員の送別を兼ねて、会員相互の親睦を図るべく慰労送別会を横浜西口中華料理店「煌蘭」にて開催致しました。退会される五名の先輩を含め総勢四十一名という多くの参加を頂き、これまでの青年会活動の事、そして今後の展望と話は尽きず、あつという間の二時間を過ごしました。

いろいろとお世話になった先輩方、また会員の方の退会は寂しいものではありますが、これで終わりではありません。これからも当会に御指導御鞭撻を賜り、共に青年会のあり方、神職としてのあり方を研鑽して行きたいと思ひます。退会される皆様の更なるご活躍をお祈り申し上げます。



上段左より 守山相談役・市川アドバイザー・近藤事業副部長
下段左より 吉田教養副部長・浅原親睦副部長

東日本大震災パネル展

「伝えよう、震災の記憶と復興への絆」

事務局員 山本 喜道



平成二十五年二月十二日〜十三日に横浜の新都心プラザに於いて東日本大震災から二年を迎えるにあたり、「伝えよう、震災の記憶と復興への絆」と題しパネル展を開催致しました。

会場には、神奈川県神道青年会の

現地での活動や全国的に神奈川県神社庁御神殿に於いて斎行致しました東日本大震災復興祈願祭にてお供えの後、福島神青村上真也会長へ送付致しました。(後日、村上会長より御礼の御挨拶を頂戴致しました。)



島根の子供達にメッセージを寄せて頂き、三月十一日に

に神奈川県神社庁御神殿に於いて斎行致しました東日本大震災復興祈願祭にてお供えの後、福島神青村上真也会長へ送付致しました。(後日、村上会長より御礼の御挨拶を頂戴致しました。)

時節柄会場は冷え込みの厳しい中ではございましたが、多くの方が足を止め震災の被害の大きさを再確認され、一般のニュースでは中々知ることのできない神社の被災状況をご覧になり、関心をお持ちのようでした。

震災から二年、でもまだわずか二年だということを忘れてはいけません。

これから未来

に向け、被災された皆さまの気持ちに寄り添いながら、復興支援のための努力を続けて行きたいと思ひます。



この国の佳き伝統とともに

株式会社 宮本卯之助商店

創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売

〒111-0035 東京都台東区西浅草2-1-1
tel. 03-3844-2141 fax. 03-3842-6730

www.miyamoto-unosuke.co.jp

神祭具 授与品 記念品 奉製

神 株式会社 神路社

本社 三重県伊勢市岩瀬2丁目5番29号(私書箱第26号)
〒516-8611 電話番号 0596-24-5858 FAX 0596-24-5110
I P 電話 050-3536-5273
URL http://www.kamijisya.co.jp
E-mail info@kamijisya.co.jp

神 店 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号ACTビル4階
(東日本営業所) 電話番号 03-3280-6720 FAX 03-3280-6721
I P 電話 050-3539-3432
〒150-0013 E-mail shinen@kamijisya.co.jp

東日本大震災パネル展 展示写真（復興支援活動）

当会の活動に深いご理解を頂き、ご協力賜りました皆様に衷心より篤く御礼申し上げます。

神奈川県神道青年会一同



黄金山神社ダムの復旧活動
（近畿）



児童に直接お菓子を渡す
（兵庫）



奥宮への参道（近畿）



支援物資をお届けする（兵庫）



支援物資の到着に思わず涙ぐむ女性（兵庫）



側溝の瓦礫・土砂除去作業
（兵庫）



被災地の子供達が縁日で大はしゃぎ（兵庫）



花火を眺める人々（兵庫）



小宮をお持ちして設置（兵庫）



新しいお社（兵庫）



落ちた狍犬を元の場所へ
（兵庫）



境内を本来の姿へ（兵庫）



崩れた灯籠を運搬（兵庫）



石巻市鹿嶋神社瓦礫撤去及び
境内整備（北海道）



石巻市鹿嶋神社瓦礫撤去及び
境内整備（北海道）



南相馬市北海道縁日（北海道）



南相馬市北海道縁日（北海道）



南相馬市綿津見神社境内植樹
（北海道）



福島県いわき市海岸黙祷（東京）



福島県いわき市瓦礫撤去
（東京）



いわき市千度大祓に全国より
神職が集まる



伊里前小学校校長先生御講話



花渚わかめ養殖用の錘作成



花渚浜瓦礫撤去



金華山黄金山神社奥宮を目指す



金華山黄金山神社奥宮を目指す



金華山黄金山神社心を一つに
復興祈願



鹿島御児神社炊き出し



震災語り部ガイドの方から説
明を受ける



石巻市水明地区
側溝のヘド口除去作業



石巻市物故者慰霊祭
海に向かい拝礼



南三陸町八幡神社山内宮司よ
り氏子区域の説明を聞く



南三陸町防災対策庁舎



福島県いわき市 千度大祓



民間ボランティアの方と協力



雄勝町の海岸復旧作業

携帯電話のけたたましい緊急地震速報と共に大地が動いた。今までにない長い揺れと激しさは大人でさえ恐怖にたじろぎ、回り一面から聞こえる鈍い破壊音に「終わり」とさえ感じた。

福島県は縦に三つの地方に分けられるが、大津波で甚大な被害が出た沿岸部の「浜通り」とは違い、私の住む「中通り」特に郡山市は建物の半倒壊、ライフラインと物流の寸断が大きな被害であったが、生き延びるには何とかなる環境でもあった。あの事故が起きる前までは。

水素爆発を起こし噴煙を出す原子力建屋。「放射能」という言葉が非日常であった私達にあの映像は衝撃を与え事態を一変させた。政府や東電、専門家や有識者と称す方々とマスメディアの「無責任な賑やかし」は小さな子供を持つ家庭にどれほど極限までの不安を与えただろうか。「焦り、悩み、苦しみ、涙、離別」。遠く離れた地での過剰なまでの言動は、未だ被災で喘ぐ人々の心に執拗なまでの疎外感を与えた。大地震、大津波、原発事故、風評被害、除染、そして風化。今なお我が家に帰れない国民が大勢いる、あの事故さえ無ければ別れる事なかった家族や友人がいたのだ。これ以上の経験と苦しみはもうたくさんである。

復旧復興への道程、そのスピードはその土地ごとに違う。あれから二年、被災後も尊い命がたくさん生まれている。「希望」ともいえる子供達を全ての子供達と等しく私達が守らなければならない。この美しい豊かな福島を守り繋げなければならない。

神奈川の地から心を寄せて頂くことは励みとなり何よりも支えとなる。そして私達は、各地から頂いたご恩に報いる為にも自助努力を重ねながら進まなければならない。

「伝えよう 震災の記憶と復興への絆」
東日本大震災パネル展によせて

福島県神道青年会会長 村上真也

金華山黄金山神社復興支援 渉外部副部長 萩原順一郎



平成二十四
年十月二十四
日～二十六日
の三日間、金
華山頂上の大
海祇神社修繕
の為、セメン
トなど資材を

運搬する支援活動に参加しました。今
回の活動は神道青年全国協議会の主催
で総勢三十七名の参加でした。

二十四日、鮎川港から島へ航り、正
式参拝。夕食後、担当の金華山黄金山
神社日野篤志権欄宜、福森聡出仕より、
全般の注意と説明を受けました。

翌日、六時起床。境内清掃奉仕を行
い、朝食後出発。五合目から作業開始
し、運搬はリレー方式或いは背負子を
使用して行い不安定な場所故、作業は
慎重に行いました。



午後四時に八合目に資材を運搬し終え
下山し、夕食後、明日の打ち合わせを
行なっている最中震度五の地震に遭い
ました。

二十六日、前日の地点から作業再開
し、山頂付近は岩場なので一層安全に
留意します。十時半頃作業が完了。下
山後拝殿前にて作業の無事完遂を大神
様に奉告。神青協大野会長より涙なが
らの労いの言葉を戴きました。昼食後、
見送られ乍ら港を出発、鮎川港で解散
となりました。

震災の爪跡
がまだ残る当
地にて小職の
微力でも復興
に寄与でき
ると信じ従事
しました。皆
様ありがとうございました。



東日本大震災復興祈願祭

渉外部副部長 萩原順一郎

平成二十五年三月十一日に神奈川県
神社庁神殿にて復興祈願祭を執り行い
ました。

当日は神社庁より石川正人理事、松
橋孝行事務局長以下職員の皆様にも御
参列を賜り、瀬尾剛良会長始め神青会

会員含め四十名余りが参列致しまし
た。

祭典は東日本大震災の発生時刻であ
る午後二時四十六分より斎行し、当会
会員が奉仕致しました。斎主に寶積章
磨、祭員を雨宮知詩、松尾寛一、伶人
に高畠弘、利根伸介、依田信也、越取
寛昭が務めました。

祭典において被災地の一日も早い復
興と被災者の皆様が一日も早く心から
笑っていただけるよう心を込めて祝詞
を奏上しました。

また、この

祭典に先立つ
こと二月に開
催しました復
興祈願パネル
展の会場にお
いて来場され
た方達からお
寄せいただいた
メッセージを
記した「復



興祈願絵馬」とこれまでの復興支援活
動の写真や動画を編集してDVDに収
めた「復興支援活動記録」を御神前に
お供えしました。

この二つの品は、福島県神道青年会
を通じて、福島県の小学校にお届けい
ただきました。多くの方々の気持ち
が被災地域の方達に伝わり力となるよ
う願っています。

復興を願う人々
が心を寄せ、東北
地方が早く元気を
取り戻せるようご
祈念申し上げます。



授与品 各種御守 記念品
祭具 調度品 神社用品全般

にしき
有限会社 西紀

〒576-0034
大阪府交野市天野が原町4丁目1-7
TEL (072)810-8133
FAXフリーダイヤル (0120)71-8135

南三陸町八幡神社復興支援 渉外部副部長 池田奈津江

平成二十四年九月三十日、気仙沼市本吉町八幡神社の例祭が斎行され、当



会より支援の品をお送り致しました。八幡神社が鎮座する小泉地区は低地の集落ゆえ、津波により甚大な被害を受けました（死者・行方不明者…

千八百九人中四十人、全半壊の被災世帯…五百六十八世帯中三百二十二世帯）。八幡神社の山内義夫宮司様には、同年七月、当会での南三陸訪問の際、大変お世話になり、命からがら津波から逃れた御体験や、御自宅と御祈禱や地区の方々の集いの場であった里宮が流され、装束や祭儀具等々すべて失ったことを伺っておりました。

このたびの例祭にあたり、「地区の方々を元気づけたい」という宮司様の御意思と、地元の方々の「神輿を担ぎたい」という願いがあり、斎行を決定したとのことでした。当会より支援の呼びかけを致しましたところ、神奈川県内の神社関係者の皆様より、義援金や装束等々の品を賜り、白丁と烏



帽子を二十組購入し、装束や浅沓ともにお送り致しました。

宵宮と例祭には、当会より二名が参列

し、地区の方々と交流しながら、震災以前の町と神社、例祭の様子などを伺いました。また、建物の基礎と線路の高架だけ残る地を、全国からのボランティアの方々と地元の方々が、共に神輿を担ぎ練り歩く光景や、小泉川沿いで鮭の孵化事業と漁業の繁栄を祈願する神事、高台の小泉小学校での鼓笛隊による賑やかな演奏などが心に残りました。そして、小泉地区の住民の方々や地区の自然、産業と、八幡神社との深いつながりを実感しました。



現在、地区の方々は分散された仮設住宅に暮らし、例祭の参加もままならない状況ですが、神社や祭りの存在が皆様の心の安らぎとなりますよう、当会一同今後もお手伝いをさせていただきます。

きたく思っております。最後に、このたび多大なるご支援を賜った、神社関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

南三陸町鎮座八幡神社復興支援 ご協力者名簿（敬称略・順不同）

佐野主水宮司・市川緋佐磨宮司
古本章祐宮司・池田清宮司
石川正人宮司・宮本佳昭宮司
山本孝司宮司・山本俊昭欄宜
杉原神元宮司・草山明久宮司
小泉愉孝宮司・早川智好宮司
草山清和宮司・飯塚充宮司
平岡好直宮司・寶積尚熙宮司
守屋大光宮司・日本会議

厚く御礼申し上げます。

大切なイメージを
カタチにします。

オリジナルグッズ・記念品

KOWA

KOWA DISPLAY CO.,INC.

株式会社 晃和ディスプレイ

東京都目黒区目黒本町3-13-10 〒152-0002
TEL: 03-3792-0211 FAX: 03-3792-0925
ホームページ <http://www.kowa-dsp.co.jp/>

日本の伝統文化は日本の心と技で護り、継承いたします

日本奉製株式会社

提灯 木工品製造販売
神社仏閣授与品奉製

〒834-0046 福岡県八女市国武341番地
TEL 0943-25-2355
FAX 0943-25-2356
Email shinto@nihonhousei.net

御装束・御簾・神輿
神祭具調度

宮内庁御用達 京装束・京神具の店

有限会社 竹重

〒600-8324 京都府京都市下京区東側町510番地

Mina-omi-ko
Tel 075-371-0394代

Fax 075-341-6966

ご注文専用フリーダイヤル 0120-37-0394

平成24年度後期活動報告

H24・10・2~3	神青協一都七県協議会研修旅行 会場：茨城県	H25・1・23	第9回拡大役員会 会場：住吉神社
H24・10・3	神青協一都七県協議会 第3回定例会議 会場：東京都神社庁	H25・1・29	新年会 会場：横浜「桜咲」
H24・10・9	親睦事業「ボウリング大会」 会場：横浜	H25・1・31	神青協一都七県協議会第4回事務局会 会場：浅草神社
H24・10・15	第7回拡大役員会 会場：川崎日枝神社	H25・2・4	神青協周年事業打合せ 会場：新宿
H24・10・19	神青協一都七県協議会 第3回フットサル大会 会場：代々木公園フットサル場	H25・2・5	神青協関東地区会長会 会場：明治神宮社務所
H24・10・21	稲作体験事業「稲刈り」 会場：御神田	H25・2・5	神青協一都七県協議会 第5回定例会議・研修 会・顧問会・新年会 会場：明治神宮社務所
H24・10・24~26	神青協 金華山黄金山神社支援活動 会場：金華山黄金山神社	H25・2・7	北方領土返還要求運動全国大会 会場：新宿文化センター
H24・10・29	横浜市議会議員 高橋みゆの「絆の会」 会場：横浜ロースホテル	H25・2・12~13	東日本大震災「震災復興パネル展」 会場：横浜新都市プラザ
H24・10・30	神青協 役員会議 会場：神社本庁	H25・2・17	神奈川県神興保存会年会 会場：ロイヤルパークホテル
H24・11・15	第3回 神青協一都七県協議会 事務局会 会場：浅草神社	H25・2・20	第10回拡大役員会 会場：伊勢山皇大神宮
H24・11・20	北方領土返還要求運動神奈川県民会議「県民大 会」 会場：横浜情報文化センター	H25・2・25	寒中祝神興渡御 会場：横浜 海の公園
H24・11・21	第8回拡大役員会 会場：伊勢山皇大神宮	H25・2・28	神政連県本部役員会 会場：神奈川県神社庁
H24・11・30	神青協「第3回全国青年神職野球大会」 会場：神宮外苑	H25・3・~7	神政連中央本部第11回時局対策連絡会議 会場：自民党本部・神社本庁
H24・12・4	神奈川県議会議員 松田良昭「元気フォーラム」 助勢 会場：横浜ロースホテル	H25・3・11	東日本大震災復興祈願祭 会場：神奈川県神社庁
H24・12・6	神奈川県神道青年会臨時総会 会場：中華街エクセレントコースト	H25・3・13~14	神青協 中央研修会 会場：高知
H24・12・6	忘年会 会場：中華街エクセレントコースト	H25・3・13~14	一都七県神政連「本部長・幹事長・事務局局長 会」 会場：箱根
H24・12・10	神青協関東地区会長会 会場：東京都神社庁	H25・3・21	第11回拡大役員会 会場：稲毛神社
H24・12・10	神青協一都七県協議会 第4回定例会議 会場：東京都神社庁	H25・3・22	神青協一都七県協議会 ゴルフ大会 会場：大厚木カントリークラブ
H24・12・16	瀬戸神社遷座祭伶人奉仕 会場：瀬戸神社	H25・3・25	教養部「視録成会」 会場：森戸大明神・森戸海岸
H25・1・22	神青協役員会会議・予定者会議 会場：明治記念館	H25・3・25	顧問会 会場：横浜 煌欄横浜店
H25・1・23	神青協次期三役会 会場：浅草神社	H25・3・25	慰労 送別会 会場：横浜 煌欄横浜店

青年会卒業生

守山 和宏…相談役
 市川 和裕…アドバイザー
 依田 信也…総務
 浅原 文子…親睦部副部長
 近藤 榮人…事業部副部長
 吉田 宰子…教養部副部長
 村上 道明…会員
 龍山 源和…会員
 狩野見英聰…会員

入会・退会会員（順不同）

退会

茂雄雄太郎…富岡八幡宮
 近藤 康寛…鶴岡八幡宮
 櫻井 紀彦…寒川神社
 近藤 聡…溝口神社
 村上 瑞樹…鎌倉宮

入会

久保 嘉秀…鈴鹿明神社
 近藤 大仁…富岡八幡宮
 中西 正史…寒川神社
 小野 俊之…寒川神社
 小澤 佳次…寒川神社
 田村 拓之…寒川神社
 本間 将広…鶴岡八幡宮
 関根 喜彦…皇大神宮
 小内 亮太…六所神社
 大森 重宗…若宮八幡宮
 葛城慎太郎…亀ヶ池八幡宮
 日下部成信…熊野神社
 金子 和憲…平塚八幡宮
 中村 聡…杉山神社

慶事報告

結婚

川辺浩司 広報部副部長
 （平成24年12月9日）

子供誕生

阿久津卓也 会員 第二子誕生
 平成24年10月2日生まれ
 次女 優月ちゃん



岩見紀孝 監事 第二子誕生
 平成24年10月9日生まれ
 長男 直紀くん



齊藤誠 広報部副部長 第一子誕生
 平成25年3月22日生まれ
 長男 光くん



神青協一都七県協議会 研修旅行会

渉外部部長 古木普純

平成二十四年十月二日、三日に亘り、毎年恒例でございます平成二十四年度神青協一都七県協議会研修旅行会に瀬尾会長をはじめ六名で参加して参りました。

昨年度の千葉県に続き、東日本大震災復興支援の一環として、今年は関東でも甚大な被災を受けた茨城県での開催となりました。

初日は、笠間市に鎮座致します笠間稲荷神社、二日目には鹿嶋市に鎮座致します鹿島神宮をお参りさせて頂きました。

参拝後の講話では震災についてのお話を拝聴させて頂き、改めて東日本大震災の残した爪痕は甚大なものであ



たと痛感する事となりました。

今後もこのような研修旅行会を通じ、神青協一都七県協議会各単位会の更なる親睦を深めるとともに、東日本大震災を決して忘れることなく、青年神職として出来る復興支援に様々な形で携わっていかねばならないと改めて実感した実りある研修旅行会となりました。

神道青年全国協議会 中央研修会

渉外部副部長 早川蒼幸

平成二十五年三月十三日、十四日、高知県高知市ザ・クラウンパレス新阪急高知にて神道青年全国協議会中央研修会が開催され、当会からは十三名参加して参りました。

今回の研修の主題は、『維新』と立ち上げられ！現代の草莽の志士』として行われ、講演の内容は、第一講「幕末日本の人材教育」志學館大学人間関係学部教授・鹿児島大学名誉教授の原口泉先生。第二講「維新と感謝」俳優・演出家・元自衛官の今井雅之先生。第三講「いま日本に迫り来る危機と自衛隊」忘れてはならない東日本大震災における自衛隊の闘い」軍事ジャーナリストの井上和彦先生等による講演が行われました。

懇親会の際、神青協前会長の春木秀



紀先輩より、「今あなたたちが活動している期は、我々、親、祖父母の代から待ち望んでいた憲

法改正に立ち会える時期にいます。昨年十二月には政権が民主党からついに自民党に代わり、七月の参院選次第によれば自民党が衆参両院過半数を勝ち取ることが出来ます。この憲法改正の好機にみなさんは非全力を出して頑張ってください。」という激励の言葉を我々会員に戴きました。

昨年の中央研修の主題が「立志」、今年が「維新」。講義の中でも歴史問題・靖國問題・領土問題を取り上げられていましたが、仁義忠孝、志を立て祖国のために立ち上がった先人たちに倣い、研修で学んだことを生かし、我々青年神職が今何をしなければいけないのか、よく考えていかなければなりません。

来年の中央研修は北の大地、北海道札幌です。神奈川県からも沢山出席し、会員皆笑顔で集結できることを期待します。此の度は研修に参加させて頂き有難う御座いました。

編集後記

お忙しい中、御寄稿をいただいた吉田周司宮司様をはじめ、会員、協賛各社の皆様のおかげをもちまして、任期最後の会報五十六号を皆様のもとにお届けすることができました。

広報部長という大役を仰せつかり、右も左もわからない状態で会報五十三号を発行してから、あっという間に任期の二年が過ぎました。この二年間は震災支援活動の現場を中心に、多くの場所取材をし、色々な思いを感じ、色々な事を考える機会をいただきました。

今後の青年会活動がより一層素晴らしいものとなるよう、この経験を活かしお手伝いができればと思います。



また、図らずも神道青年全国協議会最優秀広報賞という栄に浴し、ひとえに皆様方の御厚情の賜物と先輩諸兄の歴史によるものと心より感謝申し上げます。

二年間、お力添えを賜りました皆様、誠にありがとうございます。
(守屋隆広)

野球同好会

神奈川県神職野球同好会は約四十名の会員で活動しております。毎年秋に行われる一都七県神職野球大会の優勝を目標として、四月から十月まで月数回の活動しております。勝つことを目的とするだけではなく、野球を通じて県内神職また県外神職と親睦を図り楽しく活動しております。今期より石川正人総監督、小泉倫孝監督の新体制で臨みます。前回大会は見事優勝。今年は連覇を目指してがんばります。最大目標は神奈川二チームでの決勝戦!!

同好会ではメンバーも随時募集しています。経験の有無、年齢は問いません。入会希望の方はお気軽にお声を掛けください。

事務局

石原 ○四五―三四一―六三六五



フットサル同好会

神奈川県神職フットサル同好会は月に一回〜二回、保土ヶ谷区の体育館を中心に活動しております。非公式ではございますが、一都七県の単位会が集まってしまう大会も年に二回ほど行われ、第三回大会では悲願の優勝を勝ち取りました。とは言うものの、エンジョイフットサルがモットーの同好会です。日頃の運動不足を解消したいという方は、是非一度ご参加ください。経験の有無、年齢は問いません。お子様連れのご参加も大歓迎です。お気軽にお問合せください。

事務局

守屋 ○四六―八七五―二六八一



ゴルフ同好会

平成二十五年三月二十二日、神奈川県厚木市大厚木カントリークラブコースに於いて、第四回神青協一都七県協議会ゴルフ大会が開催されました。晴天の中、各単位会より総勢十五名が集まり、神奈川県からは八名参加し、親睦を深めてまいりました。又、当会のゴルフコンペも四回を数え、参加者も増えてきました。社務の都合上、なかなか参加出来ない方もいらつしやるかと思いますが、これからは開催回数を増やして誰でも気軽に参加できる様にしていきたいと思います。経験者の方はもちろん、初心者の方も是非ご参加ください。

事務局

早川 ○四六―八三五―三七〇三



麻・鈴緒・合織(注連縄)製造
有限会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14
フリーダイヤル 0120-22-1312
FAX 0282-22-1387
http://www.t-cnet.or.jp/~momidiya/t-top

繊細な技術と日本の伝統を今に継ぐ
授與品の奉製

古都 奈良の
株式会社 大和奉神堂

〒630-8434 奈良市山町782番地

TEL 0742-62-3235(代)

FAX 0742-62-3228

E-mail: hoshindo782@yahoo.co.jp

HomePage: http://www.yamato-hoshindo.com/